



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1397 2024年4月1日



## 2024年度の事業年度を迎えて

一般社団法人電波産業会  
事務局長 児玉 俊介

4月1日から2024年度の事業年度に入りました。2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられて以降、対面による会合、様々な行事、イベントがコロナ禍以前と同様に活発に行われ、会員や関係機関との懇親を深める場である会員懇談会も4年ぶりに盛況な開催となりました。年度当初に計画した事業も概ね実施でき、これもひとえに会員の皆様のご協力、ご理解、関係機関のご支援、ご協力があったものであり深く感謝いたします。

2024年度につきましても、去る2月27日に開催されました第41回理事会においてご承認いただきました事業計画に基づき、電波の利用に関する調査研究及び研究開発、標準規格の策定、コンサルティング業務をはじめとする諸事業を着実かつ積極的に推進したいと考えております。

Beyond 5G/6Gの開発については、5Gの普及促進との一体的な推進を行うべく、総務省が設立したBeyond 5G推進コンソーシアムと当会が事務局を務めてきた第5世代モバイル推進フォーラム(5GMF)を統合した後継組織として、4月1日に新たにXGモバイル推進フォーラム(XGMF)が設立されました。XGMFにおいては、総合的な戦略策定や国際連携活動をはじめとした諸活動が行われることになっており、当会としても事務局として精力的に取り組んでいきたいと考えています。

ITS情報通信システムについては、当会が事務局を務めるITS情報通信システム推進会議において、自動運転に重要な5.9GHz帯のV2X技術等の開発、整備に向けて総務省などと連携しつつ検討を進めるとともに、実証実験用ガイドラインや標準規格等の策定を実施します。

無線LANについては、Wi-Fi7の後継であるIEEE802.11bn等の次世代システムについて総務省の情報通信審議会等における技術的条件の検討に寄与するとともに、標準規格等を策定します。

90GHz帯空港滑走路面異物検知レーダーについては、当会の調査研究成果を総務省情報通信審議会の技術的条件の検討に反映してきたところであり、標準規格等の策定を行います。

地上4K放送等のテレビジョン放送の高度化については、総務省の制度化を踏まえつつ放送システムの標準規格等の策定を進めます。また、放送機器間のインタフェースにおけるIP化の進展等を踏まえスタジオ設備等の標準規格等を策定します。

コンサルティング業務のうち照会相談業務については、携帯電話基地局と衛星地球局との間の共用調整業務(干渉計算)に関し、総務省及び電気通信事業者と連携して開発中の5G携帯電話基地局用の高度干渉計算ツールの導入に向けた準備を進めます。

また、ダイナミック周波数共用業務については、2.3GHz帯において今後急増する5G携帯電話用無線局の運用に対し、必要な事項の照会に的確かつ迅速に応じるとともに、今後のダイ

ナミック周波数共用の候補周波数帯である 26GHz 帯及び 40GHz 帯について、総務省における調査検討と連携を図り、将来の業務実施を想定して課題の把握に務めます。

このほか、国際標準化人材の育成などに係る支援事業、情報提供業務、講演会等の開催や年鑑、機関誌等の発行による普及啓発、ITU、3GPP、APT 等の関連標準化機関・団体との連携・協力等の事業につきましても、昨年度と同様に推進いたします。

以上、新たな事業計画に基づき私どもも役職員一丸となって業務を推進して参ります。会員各位をはじめ皆様のみすますのご健勝ご発展をお祈り申し上げます。

ARIB の動き

## ITU-R WP7C 会合における宇宙天気センサの概要報告

### 1. 会合の概要

WP7C (Working Party 7C : 7C 作業部会) は、ITU-R の SG7 (Study Group 7 : 第 7 研究委員会) の下に設置され、宇宙天気センサを含むリモートセンシングについて検討している専門家会合です。

日 程 : 2024 年 3 月 18 日 (月) ~ 3 月 22 日 (金)

場 所 : スイス・ジュネーブ (Web 併用会議)

参加者 : 各国、各団体から約 240 名が参加 (日本は、総務省基幹・衛星移動通信課電波利用分析官の作田吉弘氏を団長に 13 名が参加。当会から横山次長が参加。)

### 2. 宇宙天気センサに関する主要結果

太陽活動は、航空無線、電力網、通信・放送・測位システムなどの社会インフラに異常を発生させ、我々の社会経済活動に多大な影響を与える恐れがあります。太陽活動やその電離圏・磁気圏等への影響の観測は宇宙天気センサによって行われます。しかし、宇宙天気センサに用いられる周波数帯は、国際的な周波数使用の枠組みを定める無線通信規則に用意されておらず、保護するための国際的な基盤がないことが課題となっています。

このため、ITU では、2027 年に開催予定の世界無線通信会議 (WRC-27) で受信専用の宇宙天気センサ用の周波数分配について審議することとなりました。WP7C では、WRC-27 に向けて、この周波数分配に関する準備検討を行うこととしています。

今回 WP7C 会合では、準備検討の一環として、まず受信専用の宇宙天気センサの保護基準に関する勧告案の作成に着手しました。同勧告案には、総務省の委託を受けて ARIB が作成したリオメータと呼ばれる観測装置の保護基準案が盛り込まれました。また、今回会合では、準備検討全体の行程を概観する作業計画を作成しました。

### 3. 次回会合スケジュール

次回 WP7C 会合は 2024 年 9 月 18 日~9 月 27 日に開催予定です。

**第 203 回 ARIB 電波利用セミナーを開催**  
**「6G - Europe and US beyond WRC 23 to further 6G research  
and pursue international collaboration」**

3月21日（木）に、第203回 ARIB 電波利用セミナーをオンラインで開催しました。

今回は、NTT ドコモ欧州研究所の CTO/CSO として 10 年以上勤務し、現在 Wireless World Research Forum (WWRF) の EMEA 副議長である Hendrik Berndt 氏を講師にお招きし、「6G - Europe and US beyond WRC 23 to further 6G research and pursue international collaboration」と題して、ドイツから講演いただきました。講演では当会が依頼している「欧州及び米国における Beyond 5G/6G の研究開発動向の調査」に関する成果の中から欧州および米国における 6G に関する活動の最新動向について説明いただきました。

当日は、約 50 名の会員他の皆様が参加され、オンラインで聴講いただくとともに、欧米における 6G の研究開発体制等について質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料は、当会 Web サイト内「ARIB 会員のページ」の <https://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/konwakai/index.html> において公開されています。



WWRF Hendrik Berndt 氏

**第 328 回技術委員会（放送分野）を開催**

第 328 回技術委員会（放送分野）を開催しました。

- 1 日 時： 2024 年 3 月 27 日（水）15 時 30 分～16 時 20 分
- 2 場所・形態： 当会第 3 会議室（Web 会議併用）
- 3 議 題：
  - (1) デジタル放送システム開発部会活動報告について
  - (2) スタジオ設備開発部会活動報告について
  - (3) 第 122 回規格会議の結果について
  - (4) 各社からのトピックス
  - (5) その他

## ARIB 内会合（4月1日～4月5日）予定

予定している会合はありません。

## 国際会合（4月1日～4月5日）予定

予定している会合はありません。

### 総務省などからのお知らせ

**革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業 要素技術・シーズ創成型プログラムのうち「日 EU 国際共同研究プロジェクト」に係る公募を開始**  
【令和6年3月22日発表】

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）は、総務省が NICT に造成した情報通信研究開発基金を活用し、革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業の要素技術・シーズ創成型プログラムで実施する「日 EU 国際共同研究プロジェクト」に係る公募を令和6年3月22日（金）から令和6年5月17日（金）までの間行っています。

詳細については [【令和6年3月22日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**ARIB**

Association of **R**adio **I**ndustries and **B**usinesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)